

新しい季節。ピカピカの1年生

日野学園で入学式



新1年生 入学おめでとう!



4月9日、日野学園の入学式が同校の体育館で行われ、新1年生9人が入学しました。

入学式では、保護者や在校生からあたたかい拍手が送られるなか、新1年生たちは緊張した面持ちで会場に入場。担任に一人ずつ名前を呼ばれると、「はい!」と元気よく手を挙げ、在校生の歓迎のあいさつにもしっかりと耳を傾けていました。

また、砂流誠吾校長は、新入生に身に付けてほしい4つの心得を述べ、「学校でも自分でできることは自分でしましょう」と話しました。

子どもたちは、これからの学校生活への期待で、キラキラした笑顔を見せていました。

防災への誓い。決意新たに一斉放水

日野町消防団消防出初式



満開の桜のもと一斉放水を行う町消防団

町消防団（廣川光保団長）の出初式が、4月7日、旧黒坂小学校グラウンドで開かれました。式典では、日本消防協会表彰など、優秀な団員へ表彰状が授与されました。

式典後は、黒坂駅前から町公民館前まで、消防車と消防団員が行進し、カワコ公園向かいの日野川沿いで一斉放水を行いました。

多くの住民が見守る中、団員たちは防火・防災、そして一年の活躍を誓いました。

ツツジ、八重桜。春の花々と新緑に囲まれて

滝山公園つつじまつり



咲き乱れ山を染め上げる満開のツツジ

毎年恒例のつつじまつり（町観光協会主催）が、4月6日から29日まで開かれ、多くの人が出でにぎわいました。

公園内には、無数のミツバツツジと八重桜が咲き乱れ、その競演を楽しもうと、期間中に多くの行楽客が訪れました。

公園内では、セルプひののバザーや屋台などが出店。行楽客は、ムラサキやピンク、春の花々と新緑に染まった公園内を散策し、東屋で休憩しながら花見やお話など、楽しい時間を過ごしていました。



華麗なパドルさばきで川の流れに立ち向かう

日々の練習の成果をパドルに込めて 第38回鳥取県カヌー選手権大会

4月14日、第38回鳥取県カヌー選手権大会が、日野川カヌーの里で開催されました。県内外から22人の選手が参加し、日ごろから鍛えてきたカヌーの腕前を披露しました。

今大会には、日野高校1年の中村泉椰さん（米子カヌークラブ）も出場。水しぶきを上げながら、豪快にパドルをさばいていました。

観客からは、選手が見事なパドルさばきで下っていく姿に大きな歓声が上がったり、声援が送られたりしていました。



思い出話に花を咲かせにつこり

4月13日、日野町関西地区在住者懇談会「ひの郷会」の花見会が、大阪城公園内で開かれました。

当日は、ひの郷会の会員6人とふるさと住民票登録者の3人、町職員2人が参加。桜は散り始めていましたが、春の陽気に包まれながら和やかに花見が行われました。

今回参加した人の中には、初めて参加したという人の姿も。自己紹介や昔の思い出話、それぞれの近況など話題は尽きず、にぎやかに語っていました。

桜を見ながら親睦を深める

「ひの郷会」お花見会



雲ひとつない晴天のもとウォーキング

健康第一。手軽に取り組める運動 春のノルディックウォーキング

4月14日、春のノルディックウォーキングが行われました。

ノルディックウォーキングとは、2本のポールを使って歩く運動で、ひざや腰への負担が軽減されるウォーキング法です。

当日は、小学生から高齢者まで約40人が参加。まずはポールを使った歩行練習からはじめ、その後、日野川沿い（舟場）をおよそ1時間歩きました。

参加者は、「ポールがあると長く歩ける」「ひとりよりみんなで歩くと楽しくて良い」と、普段体験しないウォーキングを楽しんでいました。



多くの店が集いにぎわいを見せた泉龍寺境内

4月7日、泉龍寺で、花まつりマルシェが開かれました。

「花まつり」とは、お釈迦さまの誕生日（4月8日）を祝う仏教行事。その日に合わせ、寺の境内にキッチンカーや飲食店などが出店し、多くの人々が来場しました。また、本堂ではマレーシア音楽とダンス、三島道秀住職によるありがたいお話も。半数以上が日野町初出店で、町との縁が深まったイベントとなりました。

天気にも恵まれ、売り切れが出る店もあったほど、大いににぎわっていました。

「小さな箱」の中ににぎわいと魅力がギュッと

花まつりマルシェ